

町政功労者表彰受賞者

| 表彰区分 | 地域 | 氏名 | 功績内容 |
|--------|----|----------|---|
| 教育功労 | 揖斐 | 渡邊 美千代 様 | 永年にわたり、園児に対して農園を解放し、農業体験教育の推進に尽くされました。 |
| 教育功労 | 揖斐 | 田中 昇 様 | 永年にわたり、養基小学校、養基保育所組合議会議員として、教育の振興に尽くされました。 |
| 学芸功労 | 春日 | 小寺 繁兼 様 | 永年にわたり、「川合太鼓踊り」の保存、伝承に努められ、地域文化の振興に尽くされました。 |
| 学芸功労 | 春日 | 新川 行男 様 | 永年にわたり、「寺本太鼓踊り」の保存、伝承に努められ、地域文化の振興に尽くされました。 |
| 学芸功労 | 坂内 | 高橋 政成 様 | 永年にわたり、「神の踊り」の保存、伝承に努められ、地域文化の振興に尽くされました。 |
| 公共事業功労 | 揖斐 | 森 悦郎 様 | 永年にわたり、揖斐川町選挙管理委員会委員長として、明るい選挙の推進に尽くされました。 |
| 公共事業功労 | 坂内 | 奥田 豊歳 様 | 永年にわたり、揖斐川町選挙管理委員会委員として、明るい選挙の推進に尽くされました。 |
| 公共団体功労 | 揖斐 | 衣斐 義明 様 | 永年にわたり、小島地区交通安全協会支部長として、交通安全の推進に尽くされました。 |
| 公共団体功労 | 久瀬 | 高橋 努 様 | 永年にわたり、交通安全指導員として、地域の交通安全推進に尽くされました。 |

感謝状受賞者

| 地域 | 地区 | 氏名 | 功績内容 |
|----|-----|---------|-------------------------------------|
| 揖斐 | 黒田 | 岩井 工 様 | 多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。 |
| 谷汲 | 深坂中 | 深井 芳孝 様 | 多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。 |

行政推進員研修会で町政功労者を表彰

4月20日(土)、揖斐川町中央公民館で、行政推進員研修会が開催されました。

住みよいまちづくりを推進する行政推進員の研修会では、多年、行政推進員として貢献された2名に感謝状が贈呈され、9名が町政功労者として表彰されました。

また、岐阜経済大学経済学部経済学科の菊本舞准教授を講師として招き「地域主体のまちづくり」の講演が行われました。感謝状の贈呈および功労者表彰を受けられた方々は次のとおりです。



▲功労者表彰および感謝状が贈られました
岩井さん(左) 渡邊さん(右)



▲研修会の様子

谷汲山参道の竹灯籠

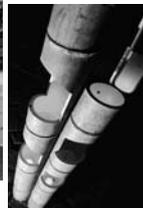
やさしい灯りがおもてなし

4月3日(水)から4月14日(日)までの期間で谷汲山参道の桜をやさしく照らす谷汲山竹灯籠が開催されました。この催しは、参道沿いの商店主の皆さんらでつくる「谷汲山前街並づくり委員会」が実施したもので、今年で8年目を迎えています。800メートルある谷汲山参道には、両側に約300本のソメイヨシノがあり、満開の時期には桜のトンネルができます。

竹の中へろうそくを入れた竹灯籠300基と和紙で作ったあんどん100基が参道に並べられ、ほのかな灯りが桜をやさしく照らしていました。また、期間中は夜も営業している飲食店が多くあり大勢の花見客で賑わっていました。



▲ほのかな灯りの竹灯籠





▲大きなゴミも落ちていました

4月3日(水)、揖斐川ライオンズクラブの会員による河川の清掃活動が行われました。揖斐川ライオンズクラブは、献血の呼びかけや町内各地の清掃、幼児園へのサンタクロース訪問活動など様々な社会貢献活動を展開しています。

この日は、会員30人が参加して揖斐厚生病院前の桂川の清掃を行いました。菜花がきれいに咲いているこの場所にもたくさんのゴミが落ちています。会員の皆さんは袋いっぱいゴミを集めていました。

主催した清水会長は「ゴミが落ちていることは残念だが、私たちの活動が少しでも皆さんの役に立てばうれしい」と話しました。

揖斐川ライオンズクラブの皆さん清掃活動ありがとうございました。

河川清掃奉仕活動
～揖斐川ライオンズクラブ～



▲熱戦が繰り広げられました

4月5日(金)～7日(日)、第16回全国高校女子ソフトボール選抜いび川大会が開催されました。揖斐川健康広場を中心に開かれたこの大会は、高校総体の予選に向けたこの大会や技術力の向上を目的としており、県内8チームを含む33チームが全国から集結し、力強い熱戦を繰り広げました。

大会2日目と3日目の一部の試合は天候不順により中止になり、予定されていた決勝トーナメントは行われませんでした。

それでも選手ら気迫あふれるプレーを見せてくれました。

また、今大会には、揖斐川町出身の選手も出場しておりスタンドから盛んに声援が送られていました。

※今大会の順位発表は行っていません

第17回全国高校女子ソフト
ボール選抜いび川大会開催



▲来場者を魅了した谷汲踊

4月7日(日)～14日(日)の期間で谷汲さくらまつりが開催されました。桜の名所として名高い谷汲山華厳寺には、今年も多くの人々が訪れ、爛漫と咲く桜を楽しみました。

14日(日)には谷汲山華厳寺の町営駐車場イベントや物産展が開催され、岐阜県重要無形民俗文化財の谷汲踊やキッズダンス、和太鼓などが披露され来場者の注目を集めていました。

今年の桜は昨年より1週間ほど早かったためピークは過ぎていましたが、それでもバザーや友好提携を結ぶ和歌山県那智勝浦町と愛知県日間賀島の観光協会の物産販売などもあり会場は賑わっていました。

谷汲さくらまつり
～勇壮な谷汲踊を披露～



▲訪問してお弁当を手渡し様子

4月9日(火)、久瀬小学校の児童がお年寄りの交通安全を願って書いたメッセージ入り(のし紙)のお弁当が配られました。これは、社会福祉協議会久瀬支所が希望する久瀬地域と藤橋地域の高齢者(75歳以上の一人暮らしの高齢者と80歳以上の高齢者などが対象)に手作りのお弁当を届けるサービスで、これまでもお弁当のし紙にメッセージを添える活動を行っています。

この日は、春の交通安全運動に合わせて行われ、のし紙には「車に気をつけて」などと児童のメッセージとイラストが描かれていました。

お弁当を受け取った久瀬地域のお年寄りは、「私も交通安全に気をつけるわ」と笑顔で答えていました。

お弁当のし紙に
交通安全のメッセージ

東アジアカップ女子ソフトボール大会第1回実行委員会

今年7月4日から揖斐川町で開催されるソフトボールの国際大会「第2回東アジアカップ女子ソフトボール大会」の1回目の実行委員会が4月10日（水）に揖斐川町役場で開かれました。

この大会は、競技の五輪復活などを目的に行われる正式な国際大会で、日本と韓国、中国、チャイニーズタイペイが参加しています。

この日の、実行委員会には町や県のソフトボール協会の役員ら約20人が出席し、事務局からの説明の後に宗宮町長が会長に選出されました。また、副会長には、林幹夫町議会議長、山口敬次行政推進員連絡協議会会長、錦野悦朗体育協会会長の3人が選ばれました。就任後に宗宮町長は「町民の皆さんと一緒に大会を成功させたい」とあいさつしました。



▲東アジアカップ実行委員会

春の全国交通安全運動

～児童生徒らが交通安全を呼び掛け～

4月12日（金）、春の全国交通安全運動（4月6日～15日）にちなみ、久瀬中学校と小学校の生徒児童が久瀬駐在所前の国道303号で交通安全の街頭指導を行いました。

街頭指導には、久瀬中学校の生徒と小学校の児童40人、交通安全協会員、警察官などが参加しました。

開始式で、揖斐警察署の堀部和男署長は「死亡事故は絶対あってはならない。みんなも交通安全の大切さを家族や友達に伝えてほしい」とあいさつしました。

子どもたちは、ドライバーにチラシや夜光タスキの入った啓発グッズと交通安全の思いが込められたアサガオの種を手渡し「安全運転をお願いします」と交通安全を呼びかけました。

このほか交通安全街頭指導は国道303号線揖斐警察署前などでも行われています。



▲カッパの河太郎も参加しました

極楽寺で弁財天ご開帳

～12年に一度、巳年に公開～

4月13日（土）に極楽寺の弁財天で本尊の弁財天のご開帳がありました。地域の鎮守として大切にされているこの弁財天は、今から300年ほど前に建立された弁天庵に本尊として祭られました。

12年に一度、巳年に行われている、裏の白山神社の神体が蛇であるということから由来する説もあるようです。

この日は、午前10時から開扉された地域の人などが12年ぶりに姿を現した本尊に手を合わせていました。

ご開帳が行われた13日（土）と14日（日）には大勢の参拝者が詰め掛け普段は見ることができない弁財天に無病息災を祈願しました。

次のご開帳は、平成37年に行われる予定です。



▲地域の人が見守る中行われました

かすがモリモリ村の入浴者が120万人達成

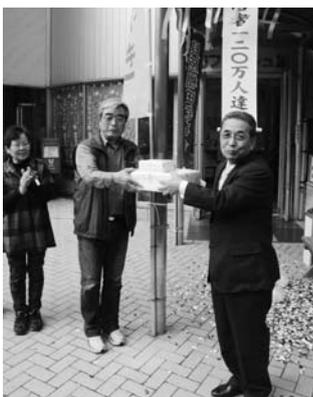
4月15日（月）、かすがモリモリ村リフレッシュ館の入浴者数が120万人を突破しました。

平成9年にオープンしたこの施設は地元で採れた薬草を使った風呂（湯）を備えており薬草の里春日ならではのサービスが人気を博しています。

また、施設内で提供される、薬膳料理や新鮮野菜が並ぶ物産コーナーも人気で町外からも多くの愛好者が訪れています。

この日、120万人目になったのは、岐阜市から訪れた岡田誠夫さん（70）。岡田さんは、薬草風呂を目当てに週2回ほど訪れているそうで120万人目の来場に驚いていました。

施設入口前では、120万人を記念したくす玉の開扉が行われ宗宮町長から前後賞を含めた3人に記念品が贈られました。



▲120万人を達成

権現山が山開き

シーズン中の安全を祈願

4月18日(木)、久瀬地域(小津)の権現山登山口で登山者の安全を祈願する山開きの式典が行われました。権現山は標高1157メートルで山頂からは、北アルプスや濃尾平野などを一望することができます。

登山口からは、2時間半ほどで山頂まで登ることができるため1day登山には最適です。

また、これからのシーズンは、新緑や山野草が楽しめるのも魅力の一つです。

この日は、登山道の草刈りなどを行っている小津権現山を守る会のメンバーや地元住民、行政関係者など約30人が式典に参列し、シーズン中の安全を祈願しました。

権現山の登山は11月中旬まで楽しめるようです。

※登山する場合は万全の備えが必要です。



▲山頂からの眺望

北方まつり

ねそねそ祭り奉納

4月21日(日)、北方神社で春季例大祭の北方まつりが行われました。北方まつりでは、昨年復活した「神輿」や三年前に復活した豊作祈願の芸能「ねそねそ祭り・田遊び」が奉納され大勢の参拝客で賑わいました。

また、今回の「ねそねそ祭り・田遊び」には北方小学校の児童4人が出演しました。農家の営みを熟演する児童の愛らしい演技が見物客の注目を集めていました。

出演した児童は、「うまくできた」と満足そうな表情を浮かべていました。他にも巫女舞や、2月までの1年間に誕生した子どもたちの新氏子初宮詣式、町重要無形民俗文化財の北方踊りなども行われました。



▲「ねそねそ祭り・田遊び」奉納の様子

レスリング吉田沙保里選手に春日のさざれ石を寄贈

4月21日(日)、レスリング女子の五輪金メダリスト吉田沙保里選手に春日のさざれ石を寄贈しました。

寄贈したのは、いびがわ町盛り上げ隊として活動している天空の里上ヶ流茶の青木明美さんと青木さんが率いる会のメンバーらで、レスリング競技が五輪から外れる窮地の中、日本人選手が「君が代」を再び奏でられるようにと願いを込めて贈られたものです。

この日は、宗宮町長らと吉田選手が練習拠点としている愛知県大府市の至学館大学の道場を訪れました。青木さんからさざれ石が手渡されると吉田選手は、「重いですねー」と笑顔を見せていました。

吉田選手は、「君が代を心の中で歌うこともあります。皆さんのためにも頑張りたいです」と話しました。



▲さざれ石を受けとる吉田選手

本町通りで越中八尾おわら風の盆

伝統文化の交流

4月27日(土)、三輪地内本町通りで富山市八尾町の伝統芸能「越中八尾おわら風の盆」が披露されました。

この催しは、伝統文化の交流と本町通り一帯の地域振興を目的にいびがわ実行委員会と揖斐川町観光連盟の主催で開かれました。

「越中八尾おわら風の盆」は、全国的に知名度の高い祭りです。9月に富山市で行われるおわら風の盆には全国から多くの見物客が訪れます。

この日、会場となった本町通りは提灯のほのかな灯りで風情あふれる雰囲気醸し、保存会の踊り手がつしとやかに踊りながら通りを練り歩きました。

また、三輪地内の「あいさつ広場」では、地元の踊り手と観客も加わり、輪おどりを楽しみました。



▲しなやかな手の運びが特徴的

東津汲鎌倉踊

〜力強く華麗な舞〜

4月29日(月・祝)、白髭神社(東津汲)で、岐阜県重要無形民俗文化財の鎌倉踊が披露されました。

鎌倉踊は、武者踊り、太鼓踊り、またはシナイ踊りとも呼ばれ、源氏が平家を滅ぼしたときに、戦勝を祝って踊ったものと伝えられています。

この日は、関係者や地域の人も多くの人が集まり、神社の境内では、5色に彩られた飾りが華やかに舞いました。

また、久瀬振興事務所隣のやまびこの郷駐車場でも披露され、施設の入所者などが力強く華麗な舞を楽しみました。



▲白髭神社境内での鎌倉踊の奉納

徳山ダム観光放流

〜水が織りなす模様我感到〜

総貯水容量日本一の徳山ダムで、5月1日(水)〜5月5日(日・祝)にかけて観光放流が行われました。

観光放流は、10時〜15時まで1時間おきにそれぞれ10分間、洪水時用のゲートを開いて、毎秒約4トンの水を放流。流れ出した水は、全長約270メートルの放水路斜面にウロコ模様を描きながら流れ落ちました。来場者は、水が描く模様に感嘆の声を上げていました。

期間中は、およそ3500人の観光客が訪れ、3日から5日にかけては、山菜やこんにやくなどの特産も販売され来場者の人気を集めていました。



▲ウロコ模様を描きます

300余年の伝統

豪華絢爛「揖斐まつり」

〜古より伝承される技と心〜

300余年の歴史をもつ伝統文化行事の揖斐まつりが、4日(土・祝)〜5日(日・祝)に三輪神社で開催されました。

好天に恵まれた両日、岐阜県重要有形民俗文化財に指定されている豪華絢爛な5輦の軸と、その舞台で練り上げられる華やかな子供歌舞伎、そして12基の勇壮な神輿の渡御を一目見ようと、2日間で約4万人の観光客が訪れました。

今年の子供歌舞伎は、下新町区による『源平咲分牡丹島重忠館の段』が上演されました。



▲子供歌舞伎の奉納 (三輪神社)



▲稚児役者の練り込み (本町通り)



▲曳き揃えられた5輦の軸 (三輪神社)